



「目的」をもって 夏季休暇を

学長・教務部長
大野 榮人

平成25年度の春学期の授業・定期試験も終わり、これから夏季休暇に入ります。夏季休暇とは言いですが、大学で学んだ事を復習し、社会の中で実際に体験してもらったための休暇であることを知っていただきたいと思います。

学生さん達は、休暇中様々な過ごし方をされるかと存じます。

(1)東日本大震災ボランティアやこの地域のボランティア活動を通して社会貢献していただく方、(2)就職活動のための企業訪問・レポート・面接に終わる日々を過ごす方、(3)教職・公務員などの資格試験に挑戦するために学力を育成される方、(4)海外語学研修に参加して語学力を磨かれる方、(5)インターシップを通して企業体験をされる方、(6)練習を重ねられ大会等に出場される文系・体育系クラブに所属されている方、(7)学費や生活費を稼ぐためにアルバイトをされる方、(8)永平寺参拝に参加して修行される方など、それぞれの学生さんが、「目的」をもって夏季休暇を過ごして頂きたいと存じます。

また何をやるのか、明確な「目標」が設定されていない方は、早急に何をやるかを決められ、その目標に向かって夏季休暇を過ごしてください。

休暇だからといって、何もしないで、不規則な生活を、無駄に日々を過ごされる事は絶対に止めて下さい。何でもできる能力とエネルギーを持っておられるのに、何もしないことは、若さに対して申し訳ないと思つて下さい。

林修先生の「いつやるか、今でしょ。」を心に刻んでください。



大学生の自覚を 忘れずに

学生部長
高木 敬一

学生諸君は、日頃の授業や試験から解放され、さぞかしホッとされていることでしょう。同時に、これから秋学期が始まるまでの一ヶ月半をどのように過ごすかと、様々な計画を思い描いておられることと思います。無論、目標を定めて集中的な学習に当てるつもりの方もいらっしゃるでしょうが、そのような諸君でも、クラブ活動やレジャーなど様々なことを併せて計画しておられるに違いありません。

今、大学は学生さんの自立を促すための教育改革を推進しています。教養課程の「教養セミナー」や専門課程の「基礎セミナー」等において、「初年次教育」を徹底し、受動的・記憶型の学びから、能動的・主体的思考型の学びへの転換を促しております。教員に授業法の工夫と改善を促して頂いております。しかし、何よりも重要な事は、学生さん自身が主体的に学ぶという意識改革をして頂かなければなりません。それを促すために、「大学生のための特別講演会」を開催しております。

すでに大学院生や学部学生による「ピア・サポート」を実施しております。秋学期より多くの学生さんを採用して、教える側に立つて指導して頂きます。アルバイト料も支払いますので、ご協力をお願いいたします。

教育改革の目的は、学生さんが自立し、自らの意思で主体的に学んでもらう事にあります。自立してもらったためには、社会の中での経験や体験が必要です。様々な活動を通して、自ら自立を促し、自己改革を遂げて頂きたいと存じます。更にお願したいのは、休暇中に様々な領域の書物(文庫本・新書本)を読み続け、知識の幅を広げ、思考力の基盤を培って下さい。

意義ある夏季休暇を過ごされま

しょう。しかし、そのような専門家でも見落としや判断ミスがないとはいえません。諸君自身が常に自らやメンバーの様子に常に気を配っている必要があります。まして夏季の活動では、指導者が付かず、学生諸君だけで練習等を行うことも多いはず。そのような場合には一層気を引き締めて練習や活動にあたる注意深さが必要です。特に上級生の諸君は心に留めておいて下さい。

夏休みを利用して、友人や家族等と海や山に遊びに行ったり、国内あるいは海外へ旅行を計画したりしている諸君もいらっしゃるでしょう。授業などから解放された、夏休みの自由な時間は行楽や旅行にも最適です。しかし、その解放感と同時に放逸や無軌道に繋がる危険もあります。友達や家族との時間を楽しむあまり、つい歯止めが利かなくなり、他人に迷惑を掛けたり、危険な状況に陥ったりすることがないとは限りません。解放感が油断に繋がり、犯罪やカルト団体などにつけ込まれる虞れがないといえません。行楽等にあたって、最低限の注意、自制心を忘れないでいただきたいと思います。

夏休みをどのように過ごすかに、今年が皆さんにとってよい年となるかが係っているといっても過言ではありません。有意義な夏休みになることを願っています。



何でも 見てやろう

キャリアセンター部長
酒井 邦雄

安倍首相の新しい経済政策「アベノミクス」によって経済はだいぶ明るくなりました。しかし、多くの人々は何となく将来に不安を感じています。開発途上国の急激な成長、グローバルゼーション、インターネットの進展により、激しい競争が起ころい、売れる商品の売れる期間が短期化しています。デフレ経済も長く続き、企業は経済変化に翻弄されています。また、インターネットはものづくりを大変化させています。クラウドファンディングで資金を集め、パソコンでデザインし、3Dプリンターでオリジナルな商品が作れます。ひとりで会社が可能です。自分だけのオリジナル商品を作ることにも可能です。(水野操「デジタルで起業する」かんき出版、2012。)パナソニックやシャープで見られるように、大企業でも戦略の間違いで危機に陥ります。就職先を決めるとき、学生諸君は経済環境の変化に適應できる企業を見つめる必要があります。会社の価値を評価する基準が大きく変わりつつあります。

学生諸君も就職に将来に大きな不安を抱えていると思います。自分の将来像もイメージできないし、どんな仕事に就きたいのかははっきりしないし、どんな会社があり、会社がどんなことをしているかわからない。わからないことだらけです。さて、どうしたらよいのか？何を求めているのかを、その現場を見て、考えるしかないでしょう。新聞や、テレビ、インター

ネット、携帯電話でこれらのことを知ることが出来ます。この中で、新聞を読むことが最適であると思います。新聞ではこれらのニュースの詳しい解説を読むことができます。毎日、新聞を読むことで、社会や経済の動きを知り、考えることができます。興味を持ったことがあれば、現場に行ってみることが重要です。新しい出来事のイベントはいろいろな所で行われています。インターシップに参加し、インターシップに参加し、会社の現場で働くことで、様々なことを経験し、多くのものを見ることが出来ます。また、アジアの国々は現在急成長しています。これらの国を訪れて、その現場を見て、様々なことを経験することは、学生諸君の視野を大きく拡大すると思います。

会社を知ることも大事です。有名企業だけでなく、他の企業も調べましょう。職種も調べると良いと思います。その時役立つのは「会社四季報」、「就職四季報」、「就職四季報女子版」です。後者2冊には、3年後離職率、女子採用数、有休消化年平均、平均年収、選考ポイント等重要な情報がコンパクトに掲載されています。自己資本比率、経常利益、総資産利益率等の会計用語を知れば、会社の業績がよくわかります。

夏休みに、何でも見て、考えれば、不安は和らぎ、かなりの自信がつくと思います。チャレンジして下さい。

平成25年度支部懇談会 盛況のうち全日程終了

全国24会場で開催された支部懇談会は、全会場とも多数の後援会会員の出席のもと開催され、6月30日(日)をもって平成25年度全日程が無事終了した。

本学を会場とした名古屋支部懇談会も多数の後援会会員の皆さんが出席し盛大に行われた。当日はけやきテラス3階のホールに溢れんばかりの後援会会員の出席のもと開催され、湯淺茂樹後援会会長・大野榮人学長の挨拶のあと、各学部に分かれて学部別に教務・学生・キャリアセンターによる全体説明、就職内定者による就職体験談の後、会員

卒業生・企業人事担当者 と大学との交流懇談会 開催

6月28日(金)名古屋観光ホテルにて「卒業生・企業人事担当者」と大学との交流懇談会が開催された。

懇親会には本学卒業生の企業経営者や人事担当者の方を招き、学長、学務部長、各学部長をはじめとする大学関係者や



本学キャリアスタッフと情報交換をするなど懇親を深めた。企業からの参加者数は総勢15社215名あり、今後も学生に対する就職支援に協力いただく様をお願いした。

また、懇親会の開催前には、同会場にて「夏季企業就職面談会」が開催され、本学卒業生が多く在籍する35社がブースを設け、本学学生のみを対象とする会社説明会が行われた。

学生達が熱心にメモを取る姿があちこちで見受けられ、就職活動中の学生にとって大変有意義な場となった。

本学では、今後も卒業生や企業とのネットワークを構築し、学生に対して更なる就職支援ができる様に取り組んでいく。



2014年3月卒業生の 就職戦線と キャリアアセンター

学内単独説明会・
アスリート対象企業説明会

中堅企業から、「内定を出
したが辞退が多い」という言
葉が多く寄せられました。

現4年生の就職活動は採用
(就職)活動の早期化及び長
期化を是正するため、一昨年
前より2ヶ月遅い12月1日か
らのスタートとなりました(以
前は3年生の10月から始まっ
ていました)。この影響により、
学生は就職情報サイトがオー
プンする12月を待ち、翌月には
会社説明会に参加するとい
ったタイムスケジュールを
余儀なくされました。そのた
め業界・企業研究がなかなか
進まず、学生たちが知ってい
る有名企業や大手企業の他
は、エントリーや説明会予約
席すら埋まらず空席状態が続
いたようです。

当地区の中堅企業もこの例
に漏れず、エントリーは例年
に比べると少なかつたとい
われています。そうした中で、学
生たちの企業研究やエントリ
ーが進んでいないならばキャ
リアアセンターが学内に企業を
招聘して説明会を行うことで、
学生に企業研究やエントリーの
機会をより多く提供できると
考え、5月から毎日1社ずつ
企業説明会を行ってきました。
毎日多数の学生が参加し、
企業での採用選考に進んでい
ます。現在も企業説明会は継
続して行なっています。

また、就職活動が遅れがちな
アスリート(体育会)学生

を対象に「アスリート対象企
業説明会」を2回開催。これ
までの採用実績やアスリート
学生を積極採用の対象として
いる企業を招聘し、1回につ
き4~5社(上場・有名企業
のみ)の計10社にご参加いた
だきました。学生の参加も多
数あり今後の成果が期待され
ます。この説明会はアスリ
ト学生の動向を把握したうえ
で、今後も必要に応じて複数
回開催していく予定です。

内定を獲得するために

企業の採用情報をいかに入
手するかがポイントです。こ
の時期になると、リクナビ、
マイナビといった大企業偏重
型の情報サイトは「採用終了」
の文字が目立ち、学生はすべ
ての企業の採用活動が終了し
たと思ひ込み就職活動の足を
止めてしまいがちになります。
そこでお勧めなのが本学独自
に入手している求人情報を活
用することです。確かに大企
業や超有名企業の多くは採用
が終了していますが、中堅・
中小企業は年内一杯まで活動
するところが多数あります。

「内定を出した企業が少なく
ない」ということも、大手企業から
順に中堅・中小企業へ移って
きているようです。そのよう
な背景もあり、中堅・中小企
業の採用活動は長期戦になっ
てきています。本学が位置す
る中部経済圏には、中堅・中
小企業といっても業界No.1、

No.1製品を持つているなどの
特色ある企業が多数存在して
います。これらの企業は学生
には知名度がないため、採用
活動に苦労しています。大企
業を含め、そうした企業を集
約しているのが、本学独自の
求人検索サイト「求人検索
NAV (NET)」です。本学
に届いた求人情報が本学内の
みならずインターネット環境
があればどこからでも検索・
確認できます。是非利用し
ていただきたいと思います。

このサイトには企業からの求
人のみならず行政機関や独立
行政法人などからの情報も掲
載されていますので、学生た
ちに積極的に案内しています。
また、筆記試験を通過し、
面接試験を控えている学生に
は、個別で模擬面接を行って
いますので活用してください。

就職活動を継続中(未内定
者や、内定は持っているが自
分に合った企業をまだ探して
いる)の学生のために、6月
28日(金)には本学卒業生が
多数在籍する企業、35社を集
めた夏季企業展を行ないまし
た。本学の卒業生は12万人を
数え、各業界に在籍していま
す。後輩を採用したいといっ
た企業の方々にご参集いただ
き、毎年この企業面談会で多
くの学生が内定を獲得してい
ます。今年度も一人でも多く
の学生の内定に繋がることを
期待しています。

キャリアアセンターの
取り組み
入学時から「自身の将来の
キャリア」を考えてもらうた
めに、1・2年次の秋学期に
「キャリアデザイン(2単位)」
を行い、その授業の中で社会
人基礎力(考え抜く力・前に
踏み出す力・チームで働く力)
を身につけるための講義を行
っています。企業の人事担当

者から直接話を聞くことや、
実際に企業を訪問し仕事の
内容や働き方をリサーチする
といった授業内容になってい
ます。

2・3年次では「インター
ンシップ」を行っています。
春学期に授業登録し、マナー・
パソコン・企業コンプライア
ンスなどの一連の研修を終了
し、夏休みの10日間、企業や
役所で実地研修を行います。
インターンシップを終えた秋
学期に各学部で報告会と全体
報告会を行い、他にあまり例
を見ない科目のため人気の授
業となっています。

さらに、昨年度から3年生
以下を対象に「SPI対策講
座」を無料で開講しています。
採用活動の多くは、エントリ
ー(応募)後にまず筆記試験
が課せられます。筆記試験(S
PI適性試験)をクリアしな
いと面接に進めません。SPI
I試験の内容は、言語問題(日
本語、英語能力)と非言語(数
的処理)高校で習った数。ま
で)の問題です。特に文系大
学生が苦手とするのが非言語
問題です。この非言語の得点
を高めるための無料講座を毎
週「月・水・金の1~5時限」
に開講しています。いつから
でも参加可能です。是非
受講をお勧めします。

また、就職活動を勝ち抜く
ために、自ら「資格」取得を
目指し将来の方向付けを目指
す学生に対して、エクスステ
ンションセンターは各種有料講
座を執り行っています。代表
的なものは公務員を目指すた
めの公務員講座、金融・不動
産・生保業界を目指すための
FP(ファイナンシャル・プ
ランナー)講座、簿記講座、
MOS試験(マイクロソフト)
などがあります。自分の可能
性を広げるために、積極的に
キャリアセンターやエクステ

ンションセンターを利用して
ください。

景気低迷に伴い、公務員希
望者が増加しています。昨年
度は行政職、公安職合わせて
144名を輩出しました。政
府発表によれば次年度の国家
公務員の新卒採用は抑制され
るということです。現役学生
のみならず、既卒者や社会人
経験者からの公務員志望者も
増え、さらに厳しく狭き門に
なると考えられます。公務員
を狙う場合、大学の通常授業
とは別に1年生から3年生ま
での3年間(4年生では総仕
上げになる)で1000時間
の公務員対策用の勉強が必要
とされています。できる限り
早くから「公務員を目指す!」
という自分自身の気持ちを強
く持つて勉強をし、まずは筆
記試験を通過しなくてはな
りません。筆記試験が通過した
後は「面接試験」になります。
公務員用の面接対策も行っ
ていますので是非利用してく
ださい。公務員の「面接試験」
でも人物重視の傾向が強まっ
ていますので、コミュニケーション能力は特に必要とされ
ます。クラブ、サークル、長
期のボランティア、アルバイト
など他人と関わる経験も重
要なスキルとなります。この
ように、公務員試験を突破す
るためには勉強も課外活動も
充実させることが重要といえ
ます。より早くからの準備が
現役合格への大きな鍵となり
ます。キャリアセンターでは
公務員専用の担当者を置き、
公務員に特化したガイダンス
等も開催しています。また、
勉強用の参考書等も多数揃え
てありますので、積極的に利
用していただきたいと思います。

今年も開催 AGU図書館情報センター主催
第2回ブック・アピール・コンテスト

- ・みんなに薦めたい本の魅力をまとめ、さらに
キャッチ・コピーも付けてみよう。
- ・図書館所蔵の図書でなくても大丈夫。
- ・コンテスト入賞作品は、館内に展示します。
もちろん借り出しもOK。

資格：本学の学部学生および院生(聴講生、研究生は除く)
応募要件：推薦図書は、一般書店で入手できる日本語で書かれたもので、ジャンルは自由です
が、コミック(漫画本)、雑誌、映像作品は除きます。

募集期間：2013年6月5日(水)~9月30日(月)17:00
審査：2013年11月

提出要領：①内容は、推薦書籍の魅力をまとめたものとします。
さらに、魅力(セールスポイント)を強くアピールするキャッチ・コピー(文字数は35字以
内、絵文字・記号・数字も1文字に換算)を書き添えてください。
②文字数は、800字以上1200字以内(厳守)とします。
③用紙はA4サイズとし、パソコンで記載してください(レイアウトは自由)。
④応募用紙に書名・著者名・出版社名・出版年、応募者の所属学部 学科・氏名・連絡
先およびキャッチ・コピーを記載の上、表紙として付けてください。
専用の応募用紙は図書館情報センターのホームページから入手(ダウンロード可)で
きます。

⑤E-mail 添付など、デジタルデータで応募提出してください。
応募先：愛知学院大学図書館情報センター
E-mailの場合:lib-info@dpc.agu.ac.jp
E-mail見出し(件名)は、「ブックアピールコンテスト」としてください。
E-mail添付以外のデジタルデータの提出方法は、図書館情報センターへご連絡、ご相談
ください。

審査方法：2段階審査(1次審査、2次審査)
審査基準：推薦書籍の魅力がアピールできているか。思わず読んでみたくなる、気にさせるキャッチ
・コピーであるか。

表彰・賞の種類と賞品：2013年12月上旬 表彰
①最優秀賞 1点 賞状+図書カード (5千円)
②優秀賞 2点 賞状+図書カード (3千円)
③佳作 3点 賞状+図書カード (1千円)
入賞者に通知し、12月上旬の表彰式に出席していただきます。

留意事項：・応募は1人1篇とし、応募された作品は返却しません。
・応募作品は、応募者自身の未発表、オリジナル作品に限ります。
・入賞作品の著作権は、主催者(図書館)に帰属します。
・入賞作品と推薦書籍については、図書館情報センターにて公表・展示します。
なお、推薦書籍については、整理次第、借り出しが出来ます。

問い合わせ先：2013年12月上旬 表彰
〒470-0195 日進市岩崎町阿良池12
愛知学院大学図書館情報センター ブック・アピール・コンテスト係
TEL.0561-73-1111(内線5003~5005) FAX.0561-73-7810
E-mail:lib-info@dpc.agu.ac.jp

ご芳名録

(順不同)

10口	多田 誠	井上 晃昌	倉田 暢仁	石原 聖志	伊藤 誠
5口	藤岡 平一郎	夏目 紘	恒川 義浩	中島 政志	塩川 泰啓
坂倉 雄大	遠藤 克己	渡辺 利夫	野中 森鹿	加藤 英明	永井 将之
4口	古田 竜三	伊藤 薫	林 仁	森本 直樹	安間 照好
宮島 平一	石田 健一	廣田 武夫	山田 康隆	泉田 一浩	石井 浩
安田 勝裕	蟹江 孝虎	吉弘 剛	野田 聖無	藤田 貢	鶴原 明彦
牧野 喜信	室町 和弘	伊藤 浩幹	野村 博信	山本 秀孝	藤原 初秋
袴田 泰史	石室 昌雅	植村 佳弘	矢野 政明	勝田 篤	池山 隆久
松柳 齊	中森 淳仁	宮野 一	矢野 利明	岩附 祥二	鹿海 純一
濱名 吉広	堀山 直実	西垣 和彦	高橋 純朋	内田 和久	五十嵐 幹郎
土本 元秀		阿瀬井 安成	山口 益功	青山 稔	溝口 一郎
2口		中筋 恵子	五十嵐 賢	平光 雄	石川 久高
小川原 忠彦	塩川 正則	百々 修司	竹内 悟由	山田 清三	伊藤 一明
都築 正泰	杉本 雅彦	鎌倉 敏彦	森 宏明	加藤 紘一	服部 勇
豊岡 昭三	諏訪 道雄	加藤 浩二	阿部 勝則	小池 光夫	米田 淳子
杉本 慎吾	高橋 雅則	饒波 末子	阿部 紀文	金子 司	佐藤 芳夫
中 茂	井奈波 悦男	小木 孝佳	細江 昭比古	上田 格	鈴木 正人
片岡 和子	井村 高夫	窪田 信一	峯 靖司	阪井 郁夫	鈴木 正人
		辻本 修	前出 久巳生	須川 誠	國分 富弘
		向 栄一朗	木村 吉生	河合 誠	今村 久男
		幸田 文昭	平野 健三	阿部 一俊	鈴木 英行
		永田 喜裕	豊田 邦子		
		瀧川 雅喜	足立 充宏		
		中西 千夏	高橋 恵一郎		
		佐口 圭一	児嶋 美雪		
		片岡 陽一	早坂 正明		

協力者ありがとうございました

平成25年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)・科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)配分一覧
(件数: 大学/86件 短大/1件 直接経費配分額: 大学/147,900千円 短大/900千円)

研究代表者氏名	所属学部	職	研究種目	直接経費 (単位: 千円)	研究期間全体の 直接経費合計 (単位: 千円)	研究課題名
佐藤 倫正	商学部	教授	基礎研究(A)	9,300		国際会計の概念フレームワークに関する総合的研究
大澤 俊彦	心身科学部	教授		10,500		アルキルアミド型付加体をブローブとした脳内老化評価システムの確立と応用
夏目 長門	歯学部	教授		2,700		なぜ先天性口蓋裂患者が少ないのかー乳製品の予防効果検証ー
夏目 長門	歯学部	教授		4,600		口腔先天異常疾患関連遺伝子解析研究ー遺伝子/タンパク質システム視点形成ー
田中 秀夫	経済学部	教授		7,000		野矢と密着ー経済思想からの接近
河合 達志	歯学部	教授	基礎研究(B)	3,700		多糖類ー骨形成因子複合化3次元造形スキャフォールドによる骨誘導性移植材料の開発
嶋崎 義浩	歯学部	教授		3,700		加速度センサーを用いた運動疫学研究による肥満と歯周病の因果関係の解明
松原 達昭	歯学部	教授		6,700		地域住民を対象としたエビデンス疫学研究基盤の構築
横田 充弘	歯学部	教授		5,200		生活習慣病の遺伝子リスクマーカーの信頼性に関する検証疫学研究
南 克浩	歯学部	講師		3,600		発達途上歯に対する口腔口蓋裂医療援助活動の効果評価する指標
菊池 一隆	文学部	教授	基礎研究(C)	800		第二次世界大戦における地球規模での軍需の動態と構造研究
杉山 知子	総合政策学部	准教授		600		グローバル化時代のローカル・アクター・ランダムアメリカの権威と市民社会
轟木 敦子(中村)	文学部	准教授		600		11・12世紀イングランドとノルマンディにおける貴族権力と君主権力
遠藤 哲也	法学部	講師		11,000		哺乳類における四肢再生系の構築
夏目 長門	歯学部	教授		2,000		Text book for Oral Care
梅川 正美	法学部	教授	新学術領域研究 (研究領域提案型)	700	3,600	イギリスの領土紛争としてのフォークランド戦争の研究
辰巳 寛	心身科学部	准教授		1,800	3,600	失語症患者と家族介護者の包括的心理教育的介入と多職種間の機能的連携システムの開発
山本 浩亮	薬学部	教授		1,000	3,700	歯周病治療を目的とした低侵襲型高分子ナノ粒子DDS製剤の設計
河村 好章	薬学部	教授		1,700	4,000	炎症性腸疾患の起因微生物の特定と治療・予防への展開
大野 恵司	歯学部	講師		1,700	3,400	歯周病原性細菌の定着機構の解明: 嫌気性環境下での感染実験系の構築と線毛機能の解析
有地 栄一郎	歯学部	教授	基礎研究(D)	2,200	3,900	強い持続性痛みによる咀嚼筋痛の発生に脳活動はどのように関与するか
後藤 満雄	歯学部	助教		1,500	3,800	口腔扁平上皮がんの浸潤転移、薬剤耐性におけるがん幹細胞ならびに上皮間葉移行の役割
樋口 直也	歯学部	講師		900	2,600	ヒトPS細胞を用いた新たな直接修復法の開発
宮澤 健	歯学部	教授		1,000	3,800	臨床応用を目指した固定源のための生体内吸収性メッシュ状口腔インプラントシステムの開発
竹下 修子	文学部	教授		1,000	3,900	定量的・定性的分析を併用した日本の国際結婚カップルをめぐる家族形成の包括的検討
中西 守	薬学部	教授	基礎研究(E)	1,200	4,000	次世代バイオ・ナノ遺伝子ベクターの構築と医療薬学への展開
藤原 泰之	薬学部	准教授		1,300	4,100	機能的有機金属錯体・錯体分子によるメタロチオネインの機能調節とその分子機構
池田 やよい	歯学部	教授		1,100	4,100	生殖腺を欠く遺伝子破壊マウスを用いた脳の性分化分子機構の研究
福井 勇男	歯学部	教授		1,200	4,200	歯科用金銀パラジウム合金の高温処理によるB2型規則相の析出と特異硬化挙動
尾澤 昌信	歯学部	准教授		1,500	4,000	インプラント埋入荷重の動解析
片山 和男	心身科学部	教授	基礎研究(F)	1,300	4,100	口腔口蓋裂ならびに口蓋裂言語に対する心理的ケアに関する研究
吉田 恵司	歯学部	教授		1,300	3,900	口腔がん可視化による早期診断のための光イメージング法に関する基礎的研究
森田 匠	歯学部	講師		1,000	2,800	ウサギ咀嚼様運動時の咀嚼部位による下顎運動の変化と咀嚼筋活動の調節機構
後藤 達巳	歯学部	教授		1,400	4,000	特異的破骨細胞抑制剤による効率的歯の移動と歯周病予防システムの開発
三谷 章雄	歯学部	准教授		1,800	4,100	炎症性歯周組織におけるTh17細胞に対するIL-35の影響
林 潤一郎	歯学部	講師	基礎研究(G)	1,700	4,100	歯周病細菌性因子の解明を目指したブラーク由来臨床株の分離とそのゲノム解析
福田 光男	歯学部	教授		800	2,500	T-RFLPを用いた歯周病細菌と歯肉組織の相互伝播の解明
石原 裕一	歯学部	准教授		1,300	4,100	IL-1Ra欠損マウスを用いた歯周組織破壊におけるIL-1Raの影響
加藤 一夫	歯学部	准教授		1,400	3,500	ジェット水流による口腔バイオフィルム形成と歯肉への影響の定量的評価に関する研究
有賀 幸子(中村)	文学部	准教授		1,000	3,900	法廷通訳者の証言・表現が心証形成に与える影響に関する研究
都築 正喜	教養部	教授	基礎研究(H)	600	2,900	視覚障害学生の英語発音指導のための点字式発音記号や音調符号および教材開発
中川 すがね	文学部	教授		400	1,500	近世瀬戸内の渡海船の研究ーその存在形態と商品流通・旅客輸送に果たした役割の解明ー
田中 淳子	法務研究科	教授		700	2,300	所有権・境界と筆界をめぐる総合的研究ー民法・手続法・実務による総合的アプローチ
丹下 博文	経営学部	教授		700	3,700	物流・ロジスティクスの発展と中国への学術的な応用可能性に関する研究
岡本 真一郎	心身科学部	教授		1,000	3,800	ミス・コミュニケーションの社会心理学的研究
下村 淳子	心身科学部	講師	基礎研究(I)	300	1,500	退職者健康増進を活用した新規採用者研修の課題と今後の展望
井上 誠	薬学部	教授		700	4,100	天然由来レチノイン酸受容体アゴニストの探索と免疫・アレルギー疾患への応用
村木 克彦	薬学部	教授		900	3,900	カチオンチャンネルタンパク質の分解制御とその破綻による細胞異常
吉田 康夫	歯学部	准教授		900	4,100	歯周病原性細菌由来アミノ酸代謝物によるバイオフィルム形成能と病原性への影響の解明
西川 清	歯学部	講師		600	2,900	共生ベクターを用いた難培養性口腔嫌気性菌への遺伝子導入・発現系の開発
鈴木 崇弘	歯学部	准教授	基礎研究(J)	1,100	4,000	革新的な生物発光イメージング法によるMMP-2関連タンパク質の発動動態解析
有地 淑子	歯学部	講師		800	4,200	咀嚼筋痛の治療効果予測のための定量的超音波elastography診断法の確立
中田 和彦	歯学部	講師		1,100	3,000	ポリリン酸を用いた新しい医療用材料の開発
中村 好徳	歯学部	准教授		600	4,000	歯科用磁性アタッチメントの国際標準化の創成
栗田 賢一	歯学部	教授		900	4,100	歯髄幹細胞を用いた新しい末梢神経麻痺の根拠的治療法の開発
井澤 幸子	心身科学部	准教授	基礎研究(K)	500	1,600	高齢者包括的栄養評価の介護福祉施設入所中の要介護高齢者の生命予後因子としての意義
稲垣 幸司	短期大学部	教授		900	2,200	歯周病とニコチン代謝能関連遺伝子多型との関連に関する研究
吉岡 文	歯学部	講師		2,000	3,100	エビデンス制作における新しい彩色法の臨床応用
藤原 久美子	歯学部	講師		700	2,100	インシトルは口腔口蓋裂を抑制するーその機序解明からCLP発症原因を探るー
西田 英作	歯学部	非常勤講師		1,200	2,800	歯周病由来SAAによる動脈硬化発症機序の分子生物学的アプローチ
杉浦 進介	歯学部	非常勤助教	基礎研究(L)	1,400	3,100	薬物性歯肉増殖症の発生に果たすHMGB1の役割に関する研究
相野 誠	歯学部	助教		1,200	3,000	骨再生治療を目指したヒト歯槽骨由来骨芽細胞の機能解析
小澤 佑介	歯学部	非常勤助教		700	2,400	siRNAによる歯周病診断血清マーカーとしての可能性に関する研究
亀井 英彦	歯学部	講師		1,100	1,900	ニコチン代謝能の低下は喫煙関連歯周炎を増悪するか? CYP2A6遺伝子多型の解析
佐藤 琢麻	歯学部	助教		1,600	3,200	神経制御による歯の移動のコントロールと歯槽骨量減少抑制剤の開発
飯川 敬光	歯学部	講師	基礎研究(M)	1,000	1,500	近赤外線分光法を用いた歯根膜の知覚による脳活動の解析
駒田 致和	歯学部	助教		1,400	3,400	ヘッジホッグシグナルによる大脳皮質を構成する細胞の分化制御機構の解明
竹田 真紀子	総合政策学部	講師		700	2,600	日本の大学英語教育におけるプログラム評価基準の構築
前田 太郎	法学部	講師		1,100	2,700	スイス及びオーストリアにおける企業責任法理の研究
上井 優一	薬学部	講師		800	1,900	有機アニオン輸送タンパク質によるトリプトファン代謝産物の解明
波多野 紀行	薬学部	講師	基礎研究(N)	1,900	3,300	TRPA1を介した細胞内Zn2+情報伝達機構に関する細胞シグナル伝達研究
平塚 真生	歯学部	講師		800	3,500	関節軟骨におけるPTHrP/PTHrP受容体の新規機能の解明
安藤 友希	歯学部	助教		1,400	3,100	Treponema denticolaの歯周病原性外膜タンパク質の機能解析
見玉 大介	歯学部	助教		900	2,900	神経ー骨芽細胞共培養系における細胞間シグナル伝達機構の解明
近藤 久典	歯学部	講師		1,300	3,200	交感神経活動による骨形成低下における抗炎症剤の影響
大口 景子(村上)	歯学部	助教	基礎研究(O)	500	1,500	歯肉治療における患者に提示可能な客観的評価方法の確立
石塚 恭子	歯学部	非常勤助教		1,000	3,300	破骨細胞形成に及ぼすニューロペプチドの影響
成嶋 昌嗣	歯学部	助教		1,500	2,800	CO2レーザーを用いた歯根象牙質のオートポリッシュ法の開発に関する研究
菊池 毅	歯学部	講師		1,500	3,200	炎症性骨代謝に対する糖質の影響の解明
渡辺 輝也	心身科学部	講師		500	2,100	初心者を対象とした背面跳びの新しい学習指導プログラムの確立
菅 さやか	教養部	講師	基礎研究(P)	600	1,800	言語コミュニケーションによる先入観の共有過程の解明
森田 雄二	薬学部	准教授		1,100	3,300	メタゲノムアプローチによる多剤耐性緑膿菌産生菌の探索・排出ポンプ欠損株の活用
井村 英人	歯学部	非常勤講師		500	3,000	口腔形成後の口蓋裂発生メカニズムについてーMEOX2遺伝子に着目してー
佐久間 英規	歯学部	非常勤講師		500	2,900	IGF4関連多量糖リン/糖脂性疾患の分子病理学的検討
夏目 長門	歯学部	教授		1,200	2,900	口蓋裂の予防法確立に向けた挑戦ー疫学結果に基づく創制的方法の臨床応用研究ー
榊原 雅人	心身科学部	教授	挑戦的萌芽研究	500	800	心拍変動バイオフィードバック法は睡眠中の心拍系休息機能を高めるか?
中村 洋	歯学部	教授		700	2,800	幹細胞と細胞分化マトリックスによる再細胞化歯髄モデルの構築
				148,800		

文部科学省および独立行政法人日本学術振興会から、2013年度の科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金/科学研究費補助金)の交付内定が発表された。本学の2013年度の採択件数は新規と継続分を合わせ87件、金額は1億4880万円。

科学研究費は、全国の大学や研究機関で行われている研究活動に必要な資金を研究者に助成する仕組みの一つ。人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」(研究者の自由な発想に基づく研究)を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」。専門分野の近い複数の研究者による審査を経て、独創的・先駆的な研究に対する助成が行われる我が国最大規模の競争的資金制度で、社会の困難や障害を突破する画期的な研究成果を多く生み出している。

2013年度「科学研究費助成事業」1億4880万円・87件が採択

科学研究費の中核となる研究種目は「基礎研究」で、研究期間や研究費総額によってS・A・B・Cの4つに区分されている。若手研究者の自立を支援する研究種目として39歳以下の研究者を対象とする「若手研究」等、学問の新たな領域の形成や挑戦的な研究を支援するものとして「新学術領域研究」や「挑戦的萌芽研究」を設けている。

野口俊英歯学部教授が、第56回春季日本歯周病学会(平成25年5月31日・東京/タワール船堀 総会において、これまでの歯周病学会における、理事長・各種委員会委員長としての業績に対して学会賞を授与された。



市民公開講座のお知らせ

本学、歯学部保存修復学講座の千田彰教授が理事長を務める日本歯科保存学会主催の市民公開講座が開催される。

この取組は科学研究費助成を受けて実施される。詳細は次のとおり。

詳細

テーマ: 「歯をまもる、健康をまもる」

日時: 平成25年11月19日(土)
13:00から16:30

場所: 愛知県歯科医師会館
名古屋市中区丸の内3丁目5-18

講師: 千田 彰
愛知学院大学歯学部保存修復学講座

真鍋厚史
昭和大学歯学部歯科保存学教室

松原達昭
愛知学院大学歯学部内科学講座

入場料: 無料

2013年

研修シーズン到来!

夏休みに入ると本学の年中行事である夏期海外語学研修や、新入生対象の永平寺一夜参禅が行なわれる。また、ゼミやクラブ活動の合宿も盛んに行なわれます。貴重な人やモノとの出会い、青春を謳歌できるこの機会を有意義に活用して、自己研鑽につとめて下さい。

海外語学研修
永平寺参禅Bond University
ボンド大学

ホームステイを通じ、生活習慣を実体験

■大学紹介

1987年にオーストラリア初の私立大学として設立された大学。クイーンズランド州ゴールドコーストの閑静な住宅地ロビーチ地区に立地し、学生数は約2000人。世界47カ国から留学生を受け入れ、予備講座を行う付属機関として「ボンド大学付属英語学校」も開設。スポーツ施設をはじめ

University of Victoria
ビクトリア大学

雄大な自然の中でのびのび英語にひたる

■大学紹介

ビクトリア大学は1963年の創立でバンクーバー島の南端に位置する清潔で安全、しかも眺めのすばらしいブリティッシュ・コロンビア州の州都にあります。大学キャンパスには、図書館・美術館・劇場・スポーツセンターなどの施設があり、研究面では特にアジア太平洋地域の研究が盛

The University of Edinburgh
エディンバラ大学

AGU語学研修開始時から伝統校で語学力UPを目指す

■大学紹介

1583年に創設された大学で、キャンパスは街の中心にある法・人文・医学・音楽・社会科学部などがあるオールド・カレッジと理系の学部が集まるキングス・ビルディングに分かれています。大学の誇る応用語学研究所は優れたスタッフと教材を揃えており、研究所主催の語学研修に

は世界各国の人たちが参加しています。

■周辺環境

中世を体感できる街エディンバラは、優雅で威厳を保つ天然要塞として名高いエディンバラ城を中心に、伝統・建築・史跡遺産が歴史の重みを感じさせます。また、興奮醒めやらぬフェスティバル (Military Tattoo) によって私たちを魅惑の中世へと導いてくれます。

■期間

8月10日～9月3日(25日間)

■コース内容

英会話を中心にイギリスの歴史

んな大学です。

■周辺環境

カナダ最西端バンクーバーアイランドの中心地ビクトリアはイギリス文化が残るカナダ有数の観光名所です。大学構内や家・道路など街のいたるところに花が植えられ緑も多く、街の人々とはとても親切で安全な街です。語学力・海外生活に自信がない人でもとても溶け込みやすい最適な環境です。

■期間

8月4日～9月2日(30日間)

■コース内容

め充実した設備と教育環境が整っています。

■周辺環境

ゴールドコーストの中心サファリーパライズまでは車で15分ほど。海岸沿いのリゾートには無数の高層ビルがそびえる一方で、大学は静かな住宅地に位置し、水辺と自然に囲まれた高大で美しいキャンパスです。

■期間

8月3日～8月26日(24日間)

■コース内容

ボンド大学付属英語学校による約80時間の英語授業と様々な

史、文化、経済、法律などを学びます。街に出ての課題や様々なアクティビティを行い、週1回のオープンショナルハーフデーツアーも用意されています。



Institute for Applied Language Studies
<http://www.iats.ed.ac.uk>

■引率者

丹下博文経営学部教授
近藤竜磨入試センター職員

英会話力向上のため授業をはかのコースを延長して3週間半に渡って英会話の授業を行います。また、英会話以外の教養講座ではカナダの歴史・社会・経済・法律などの授業も行い、午後のアクティビティには、美術館や街に出かけてのブリティッシュ・コロンビア発見ツアーやハウエルウォッチングを行います。

English Language Centre
<http://www.uncs.vic.edu.au>

■引率者

伊藤徳正商学部准教授
木林利行キャリアセンター係長



■引率者
リチャード・ジェフェリー・ブレア教養部外国人教師
青山翼教務課職員



な課外授業を体験できるプログラムとなっています。研修後はシドニーに立ち寄り、自由研修を行います。

English Language Institute
<http://www.bond.edu.au/english>

永平寺一夜参禅

永平寺一夜参禅が今年も8月1日から開催されます。

この行事は、本学の建学の精神「行学一体・報恩感謝」に基づく伝統の研修行事で、日々の行事の中で厳しく真理を追求した祖師の精神に少しでも触れることによって、勉学や社会生活に生かすことを目的としています。坐禅とおして人間形成に資するともに、自立できる大学人となる一助として行われるものです。

■日程

第1班 8月7日～8日

第2班 8月8日～9日

■参加費

1000円

※福井県にある曹洞宗大本山永平寺は、今から約770年前の寛元2年(1244)道元禪師によって開創された「日本曹洞宗」の第一道場出家参禅の道場です。

境内は約10万坪(33万平方米)、

海外語学研修壮行会

7月2日(火)、午後12時50分より日進キャンパス本部棟3階大会議室において、平成25年度海外語学研修壮行会が行われた。

当日は、大野榮人学長、湯浅茂樹後援会会長の挨拶の後、今回の引率者と参加者代表の紹介があり、各コースの団長の挨拶と各コースの学生代表が語学研修に向けての抱負をそれぞれ述べた。

終わりに引田弘道国際交流センター所長、グレゴリー・ロウ国際交流センター監事より参加学生に激励の言葉があり終了した。



異文化交流研修を十分に果たし帰国されることを期待します。



樹齢約700年といわれる老杉に囲まれた静寂なたたずまいの霊域に、七堂伽藍を中心に70余棟の殿堂楼閣が建ち並んでいます。

この静寂なたたずまいの中で説法を聞き、坐禅を行うなど、尊い修行体験を味得ることが出来ます。